



「遠い夏」 櫻井路子

遠い夏、ボクらはいつとも  
電車で揺られていた。

語り明かした頑な理想が  
長い旅をどこまでも照らし、  
線路は希望へとつながっていた。

真新しい紺色のスーツに袖を通す頃、  
ボクたちの旅は終わった。

今は、列車の揺れが  
遠い遠い夏を照らす。

ふと降り立った駅に  
あの頃のボクらがいた。



RAILWAY PHOTOGRAPHY & POETRY CONTEST 2019

2020 年 6 月						
日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

